

藤枝市教育委員会

平成27年10月定例会会議録（要約）

藤枝市教育委員会 平成27年10月定例会会議録

- 開催日 平成27年10月23日
- 場所 藤枝市役所西館5階 第4委員会室
- 会議に附した事項 (別紙のとおり)
- 出席委員
教育長 山本満博
教育長職務代理者 松浦正秋 委員 大社幸子
委員 瀧下悦代 委員 横山久男
- 欠席委員
- 出席した事務局職員
教育部長 藤村啓太 教育政策課長 山田雅己
教育推進担当係長 花澤澄子 学校教育課長 森下覚司
主席指導主事 海老岡正乃 学校給食課長 中山文敏
生涯学習課長 片山豊実 図書課長 成岡均
総務係長 山本賢二 書記・総務担当係長 岸本倫子

教育委員会 平成27年10月定例会

日 時 平成27年10月23日 午前9時
場 所 藤枝市役所西館5階 第4委員会室

1 開 会 午前9時

2 会議録署名委員氏名 大社幸子委員、瀧下悦代委員

3 日程第1
・第24号議案 平成27年度藤枝市教育委員会事業評価について

4 日程第2
・諸般の報告

教育政策課長	1 「ふじえだ教育マイレージ」の開始について
教育推進担当係長	1 「ふじえだロボットアカデミー」開講について
学校教育課長	1 「親子で考えよう わくわく家庭学習 実践編」を配布
学校給食課長	1 「だしで味わう和食の日」の実施について
生涯学習課長	1 各地区ふれあいまつりの開催について 1 「子ども会フェスティバル」の開催について

5 閉 会 午前10時

教育委員会 平成27年10月定例会

日程第1

教育長	これより日程第1に入ります。第24号議案「平成27年度藤枝市教育委員会事業評価について」を議題とします。質疑討論につきましては、事務局からの説明終了後に行いますのでお願いします。それでは、事務局より説明をお願いします。
事務局	【第24号議案 平成27年度藤枝市教育委員会事業評価について 説明】 『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』に基づく法定評価 今年度の対象は平成26年度主要事業 13事業 今後は11月議会に報告後、ホームページ等で公表予定
教育長	これより質疑に入ります。質疑はありますか。
委員	「プレイパーク調査研究事業」について、市が主催する必要性はないという意見がありますが、それに対して教育委員会としては、どのように考えていますか。それから、給食センターに民間の電力を導入したようですが、公民館等の他の施設への導入は考えていますか。
事務局	プレイパークにつきましては、元々調査研究事業ということで、現場でプレイパークをやりながら、実際に市民のみなさんがプレイパークをやるにあたってどのような用意をしたらいいのか、市民の方にどのような事を知っていただければいいのかといった事を研究していくために、今実地でやらせていただいています。今年度も、市民の方にできるだけ遊びの必要性を知っていただくために勉強会等を企画することも考えています。そのような中でボランティアの方々がどういった事を必要としているかを、ボランティアの方々と実際に現場で遊びながら話をしあって、市民のみなさんがやりやすいプレイパークというものを検討していく事を考えています。今後はできる限りそういった方を育てていくと同時に、市民の方に必要性を感じていただくための事業をやっていきたいと考えています。
事務局	新電力の関係につきましては、前年度は給食施設3センターにおいて行いました。これは給食施設というのは一年間を通じて平均的に電力を使うのではなく、月ごとに電力使用量に差がありますので、そういった場合、民間の事業者にとっても利益があるということで、今回給食施設が選ばれました。今までは50kw以上を使う高压施設が対象でしたが、来年度以降は一般の家庭の電力についても対象になるということです。今後の方向性については公民館等の施設や電灯等について、管理している管財課の判断になってくるかと思います。給食施設については今後も継続していきます。
事務局	今回の給食施設の事例で効果が高いと実証されていますので、基本的に全庁的な体制の中で検討されていくと思います。

委員	プレイパークについて、外部に受渡していった時に事業が消えてしまわないように中心になる人物や組織等に渡して行っていただけるようにお願いします。
教育長	せっかく効果がでてきているから、継続して欲しいということですね。
委員	<p>特別支援教育の今後の方向性についてですが、1項目目と3項目目にそれぞれ「特別支援学級（支援教室）の新設を進める」と重複してでてきますが、これは何か意味があるのですか。</p> <p>また、特別支援学級では「新設」となっていて、通級指導教室では「増設」と表現されていますが、その違いをもう少し説明をお願いします。</p> <p>それから、「やる気・元気・学力アップ事業」について、家庭学習の充実ということで、平成26年度はリーフレットを作成配布して、今後の方向性としてさらに実践編を作成するようですが、資料を見ていると、その活用をはかるところまで取り組むようになっていきますので、「作成して活用をはかる」との表現を入れた方がいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>わかりにくくて申し訳ありませんでしたが、特別支援教育について、資料の中に「・」がうってありまして、この説明がそれぞれの項目に対応しているようになっています。一つ目の特別支援学級の新設については、今定数について調査しています。今現在の段階では、増設の可能性の方が高いと思いますが、状況に応じてというのは、今後就学支援の結果を踏まえてどの程度支援学級に入学していくかによります。</p> <p>二つ目の通級指導教室の増設については、9月現在で大洲小学校に通級指導教室を新たに作る方向で要望を出していますが、それも今後の動きで変わってくるかと思っています。</p> <p>三つ目の項目については、中学生のための支援教室「する～ばす」の事です。大変保護者のニーズの多い、小学校の通級指導教室に代わる、中学生のための教室ですので、これもまたどの程度希望があるかのニーズに応じて新設をすすめていくと思います。</p>
委員	三つ目は中学校の支援教室という事ですね。
事務局	はい。今、中学校に4校あります。
教育長	その4校のほかにさらに新設を進めていくという事ですね。
事務局	そうです。
教育部長	今の部分については、分かりにくいので分かりやすい表現に直していきます。
事務局	「やる気・元気・学習アップ事業」についてお話しさせていただきます。この事業評価の部会が開催されたのは8月で、その時にはまだ実践編を作成している段階で先が見えなかったもので、その時点では「作成する」としていましたが、その後完成してみると、すぐに印刷して配布したほうが良いとの判断で急ぎよ進めて出来あがりしました。今の状況ですと、「作成し活用をはかる」と表現を変えた方がいいかと思いますのでそのようにしたいと思います。
教育長	10月には各学校に配布されるようですので、「活用をはかる」ということでい

	いのではないかということですね。
委員	「やる気・元気・学習アップ事業」の中にスーパーティーチャーを延べ17名派遣したとありますが、どういう方かイメージがわからないので、もしわかれば3人お名前をあげていただけないでしょうか。
学校教育課長	たとえば、大橋先生、岡村先生、瀬津先生等に学校に入っています。
委員	わかりました。
教育長	ほかによろしいですか。 それでは、以上で質疑を終結します。これより討論に入ります。 討論はありませんか。
一同	『ありません』
教育長	以上で討論を終結します。 これより第24号議案「平成27年度藤枝市教育委員会事業評価について」を採決します。 本案は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。
一同	『異議なし』
教育長	異議なしと認め、本案は原案のとおり可決されました。

日程第2 諸般の報告

教育長	次に日程第2に入ります。日程第2 諸般の報告について、教育政策課長から順にお願い致します。
事務局	1 「ふじえだ教育マイレージ」の開始について ●9月補正による新事業 市の4K施策にあわせて「ふじえだ4Kマイレージ」として推進 11月1日から実施
事務局	1 「ふじえだロボットアカデミー」開講について ●別添資料のとおり 静岡大学教育学部の全面協力を受けて開催 現在、集中講座に市内中学生15名が参加

事務局	<p>1 「親子で考えよう わくわく家庭学習 実践編」を配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ●別添資料のとおり 10月に市内の全児童生徒に配布 11月には教員向けに研修を開催し活用をはかる
事務局	<p>1 「だしで味わう和食の日」の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●11月24日 「和食の日」 平成25年 和食のユネスコ無形文化財認定を受けて開催 地元食材を活用
事務局	<p>1 各地区ふれあいまつりの開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資料のとおり <p>1 「子ども会フェスティバル」の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資料のとおり 今年度で26回目の開催
教育長	これより質疑に入ります。質疑はありませんか。
委員	資料3頁の「ふじえだロボットアカデミー」について、とても良い試みだと思うので、期待しています。ロボコン対策集中講座に15名が参加しているとの事でしたが、男女比を教えてください。
事務局	今回は女性の参加がなく、全員男子です。
委員	小学校5年生から参加できる講座を来年2月に開催していただけるようですが、何回くらい予定していますか。
事務局	全部で3回を考えています。その内、2回を小5～中2までの講座。あとの1回を中学1・2年生講座として、少し上級者向けにと考えています。小学校5年生からにしたのは、静岡大学の教授と話をする中で、中学生と同じようにロボットを作って、中学生とも交流できるのは小学校5年生くらいからでないといけないのではないかとこの事でしたので、最初は低学年からとも考えていたのですが、今回はそのようにさせていただきました。
委員	とてもいい事業だと思うので、ぜひ続けていただきたいし、また年間を通じて子どもがロボットを作れるような環境があるといいと思います。
委員	<p>今年は『実践編』ができたということで、素晴らしいことだと思います。今、見せていただいて、学校教育課の指導主事のみなさんが普段の多忙な業務の中でこれを作られたと思うと、とても驚くとともに大変感謝しています。以前、藤枝中学校区で家庭学習についての取組をされているように聞いたことがありますが、それが平成26年度の初版リーフレットに反映されたのか、その辺りのいきさつがわかれば教えてください。</p> <p>また、感想ですが、各学校でも家庭学習の手引きのようなものを作っているようで、学校訪問の時などに見せていただいたことがあります。そういうものとの兼ね合いといいますか、各学校で市から出されたものとともに工夫して使っていくような各校の取組を期待したいです。</p>

事務局

補足ですが、藤枝中学校区をモデル地区としまして、そこで家庭学習について保護者も交えて家庭学習充実委員会というものを設けて検討していただいて出来上がったのが昨年配布したリーフレットです。今度はこれを基に中学校区の先生方にさらに深いものを考えていただいて、第2弾として今回のものが出来上がりました。やはり、各学校でも家庭学習を充実させていかなければならないという動きがありまして、昨年作成したリーフレットをもとに、たとえばチャレンジノートというように学校のロゴを入れて子どもたちに配布するなど、それぞれの学校でアイデアをだして取り組んでいただいている状況です。特に藤枝中学校区では、その後子どもたちへの調査として、小学校では「自分で計画を立てて勉強していますか」との問いに平成26年度には60%程度だったものが、平成27年度には70%以上という成果が出ています。また、「家で復習をしていますか」との問いについても平成26年度は40%台だったものが、平成27年度には60%位にあがっていきまして、モデル地区で先行実施して家庭学習について取り組んでいただいていたのですが、子どもたちへのアンケート結果によりますと、成果がかなり出ているという報告も受けています。ですから、今度全市内に配布して今年度展開していきますので、かなり子どもたちの取組状況が良くなっていくのではないかと期待しています。

教育長

常葉大学の小田切先生が指導したグループに作っていただいたのですが、今話がありましたように、校長先生方や教務の先生方やPTAの方々と一緒にあったところで会合をしていただき、資料については各学校からのものを集めて作成していただきましたので、大変良いものができているのではないかと思います。

委員

リーフレットについてですが、私もとても良いものができて、自分の子育ての時にあればよかったと思います。実際に全市内に配布して、どういう効果ができたかという検証は今後どのようにしていきますか。

事務局

今後、子どもたちへのアンケートをしていって、家庭で復習をするようになったとか、自分で計画を立てて取り組めるようになった等の家庭学習の状況をいくつかの項目に分けて調査しながら、後は、すぐには数字として反映はしないかもしれませんが、毎年行っている学力学習状況調査の結果も比較しながら検証していきたいと考えています。

委員

子どもからのアンケートも大事だと思いますが、是非、保護者からも意見を聞いていただけるといいと思います。また、小学校に入ると義務教育が始まるということもありますが、家庭教育の初めは親子の読み聞かせなどの、親子での時間の取り方だと思うので、たとえばブックスタート等の事業もこの前段階としてあると思うので、親子で集中して何かをするという時間について幼稚園や保育園の保護者の方にもその大切さを是非伝えていく機会を作っていただけたらと思います。

事務局

おっしゃるとおりだと思います。特に義務教育の部分は学校教育課が取り組むことになっていきますが、それ以外は生涯学習課が担当することになると思います。生涯学習課では、幼稚園や保育園の保護者の方を対象にして、園を通じて講師の派遣をする中で家庭教育の部分の話をさせていただいたり、園によってはお子さんと一緒に体を動かすような親子のふれあいをしたりする機会を設けていただいています。また、小学校1年生の保護者を対象とした家庭教育学級を通

じて、家庭教育の大切さを伝えたり、保護者のみなさんが抱えている問題をそこでお互いに話し合っ解決してもらうような場としても活動していただいています。今後もそういった部分について引き続き充実させていくようにがんばっていきたいと思います。

教育長

先日、校長会との話合いがあったときに、校長会の代表から就学前の子どもたちへの指導ということで、読み聞かせを通して基本的な生活習慣を身につけてほしいという話がありました。今、親子の読み聞かせが非常に大切だという事が、校長会からもありましたので、これについては児童課や子ども家庭相談センターにもお願いして、やっていっていただきたいと思います。

教育長

それでは、これより質疑にはいります。
質疑はありますか。

一同

『ありません』

教育長

それでは、以上で本日の全日程を終了いたしましたので10月定例会を閉会いたします。

閉 会

午前10時